

令和7年度 東条学園小中学校 経営方針



★ 9年間を見通した系統性・連続性のある学び(縦につながる4-3-2の3つのステージ)

第Ⅰステージ

- ① **学びの向上** . . . ☆**学び方の基礎・基本**を習得する。
- ② **つながる力の育成** . . . ☆**自分のよさを発見し人とつながる力を育成**する。

第Ⅱステージ

- ☆**自ら学ぶ方法・話し合いの方法**を習得する。
- ☆**人とつながり協働する力**を育成する。

第Ⅲステージ

- ☆**自ら考え・学び合い・発信**する。
- ☆**人とつながり折り合いをつけ、高め合う。**

★ 3つのステージの特徴的な学び

☆ 第Ⅰステージでは

- ①「わかった」「楽しい」と実感できる授業を通して、学び方の基礎・基本を習得させる。
- ②保護者と連携して、規則正しい生活習慣や身の回りのことを自分で行う自立の基礎を培う。
- ③2年生から外国語学習がスタートし、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。
- ④東条の山や川とふれあい、楽しさを味わう中で地域に根ざしたふるさと学習を行う。

☆ 第Ⅱステージでは

- ①学園会活動を通して、異学年の学園生同士が協働し、よりよい人間関係を構築する。
- ②前後期の教員が連携し、授業の乗り入れを行う。
 - ・1～2年生 ⇒ 学級担任制 (45分)
 - ・3～4年生 ⇒ 一部教科担任制 (45分)
 - ・5～9年生 ⇒ 教科担任制 (45or50分)
- ③5・6年生で学期に1回、定期テスト(5教科)を実施し、学習状況のきめ細かい把握と個に応じた指導を充実させる。

☆ 第Ⅲステージでは

- ①系統的な平和学習に取り組む。
 - ・6年生の校外学習：広島県へ
 - ・9年生の修学旅行：沖縄県へ
- ②発達段階に応じたキャリア教育を計画し、他者の役に立ったり、社会に貢献したりすることに喜びを得られる活動を充実する。
※自己有用感(他者からの肯定的な評価)の醸成
- ③一人ひとりが学校の顔として、学校生活を送れるよう、自覚と責任感を育成する。

★ 具体的な取組 ☆:本年度の重点項目

1 生きてはたらく学びの向上を図る。

○多様な一人一人の児童生徒に応じ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業を工夫する。

★振り返り(メタ認知)の充実を図り、効率的な家庭学習の進め方を支援する。

○ICTを活用した「アウトプット(深い学び)」を意識した授業づくりを推進する。

2 他者につながる力を育成する。

★インター等を活用した人間関係づくり、積極的なステージ交流を推進する。

○学園会の中央委員などリーダーに明確な考えを持たせ、自分の言葉で自信を持って発言、行動できる力を育てる。

3 思いやりや寛容の心を持ち、互いに高め合う力を育成する。

★教員が協働して、自分の問題として「よく考え」、その考えをより深めていくために級友と「議論する道徳」をめざした授業づくりを推進する。

○つなぐ平和学習を通して、平和の尊さ、大切さを考え、行動する力をつけさせる。

4 健康な心身を育て、安全に対する意識を高める。

★成長を促す指導や予防的な指導等により、教育相談(心のケア)の充実を図る。

★系統的な体幹トレーニングを実施し、子どもの発達段階に応じた体力・運動能力の向上や正しい姿勢を身に付けさせ、けがの予防に努める。

○東条地域学校協働本部と連携して通学路の見える化を一層充実させるとともに、危険予測できるなど自らの命を守る能力を身に付けさせる。

5 心通う集団づくりをめざして、積極的な生徒指導を推進する。

★時間を意識させ、係(当番)活動や清掃活動など与えられた仕事に責任を持たせる。

○SCやSSWを含めた学園生の支援体制【ケース会議や学年(層)会議】を充実させ、福祉・医療機関や警察等と積極的な行動連携を図る。

6 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育を推進する。

★通常学級における要支援学園生の支援体制を充実させ、本人・保護者の願いを中心に据えてライフステージに応じた適切な教育課程(教育支援計画等)を編成する。

○加東市発達サポートセンター「はぴあ」との連携や、デリコラ(巡回相談)等を積極的に活用し、きめ細かく適切な学園生支援・家庭支援を行う。

7 地域に開かれた学校づくりを推進する。

★自治的なPTCA活動を充実させ、学園生の健全育成を中核に、学校と地域が一体となって連携・協力しながら教育活動を行う。

○人材バンクの充実を図り、地域行事やボランティア活動への参画、地域住民の積極的な学校支援などを通して、東条地域の担い手を育む教育を推進する。

○地域での作品展示、コスモス【⇒加東市の花】花いっぱい運動を深化させる。

8 教職員が心身ともに健康で、働きやすい職場環境づくりを進める。

★計画的な学年(層)会議、会議資料の事前配付、各資料の整理整頓を確実に実施する。

★週1回(17時30分)の定時退勤日やノ一部活デーの完全実施、計画的な年休等取得(各学期4回目途)により教職員のワーク・ライフ・バランスの保持に配慮する。

○円滑なコミュニケーションを図り、教職員相互の協力・協働の職場環境づくりを一層推進する。